

編集後記

○「岡山大学国語研究」第三十六号をお届けします。

本号には、本学研究科・学部教員による論文三本と、附属中学校教員の方々による実践報告一本、OGによるエッセイ一本を掲載しております。日頃の研究教育・教育実践の中から醸成された諸論に、ぜひお目通しください。

また事務局では、会員の皆様からの投稿をお待ちしております。積極的な投稿をどうかよろしくお願いいたします。

○一九八九年四月に着任された田中智生先生が、今春を以て退職されます。先生は国語教育学、特に日中比較国語教育の研究を専門とされ、学界、教育界に多数の業績を残されました。附属小学校・中学校の校長職も務められ、岡山県教育界に多大なる貢献もされました。田中先生の長年に亘るご精励に心より感謝申し上げます。今後のご健勝と、学界での益々のご活躍をお祈りいたします。

○二〇一九年二月以来、世界は新型コロナウイルスに席捲され、三年目に入った現在も危機の渦中から抜け出せていません。日本は昨年八月の第五波の後感染者が激減し、収束への期待が持たれたものの年末からは第六波に見舞われ、二月一日の時点で岡山県内での一日あたりの感染者数が過去最高の一〇五五人に達しています。一方国内ではワクチン接種の三回目接種が遅々として進まず、受入病床が逼迫した地域では、感染者が在宅で治療を余儀なくされる厳しい状況も確認されています。人々は、まん延防止等重点措置に倦みながら、感染予防と経済活動の両立という昨年来のテーマに改めて直面しています。

昨年度はじめてオンライン授業をすることになった岡山大学では、今年度は落ち着いてオンラインシステムを運用し、目立った混乱は見られなくなりました。しかし二年間殆ど対面授業を受けることがなく、部活やサークル活動が十分にできなかった二年生をはじめ、一年・三年、そして卒業を迎え

る四年生に「失われた学生生活」がどのように影響するのか懸念されます。

○昨年について本研究会は、今年度もオンラインで研究発表会を実施しました。昨年よりも少し参加者人数が減りましたが、一、二年生の学生の参加もあり、彼等が大学で行われている教育・研究の一端に触れる機会を、ささやかではありましたが少しでも提供できたことは、良かったと思います。

前号「編集後記」からの繰り返しになりますが、一刻も早くこのような非常事態を脱し、わたしたちの平凡で大切な日常を取り戻せるよう心から願ってやみません。
(K)

二〇二二年三月二十日 印刷

二〇二二年三月二十日 発行

岡山大学 国語研究 第三十六号

編集兼 岡山大学教育学部

発行者 国 語 研 究 会

〒七〇〇八五三〇

岡山市北区津島中三丁目一番一号

URL: <https://edu.okayama-u.ac.jp/~kokugo/>

振替口座番号 (〇二二一〇一五―三五六二二)

印刷所 サンコー印刷株式会社

〒七一九一―一三七

岡山県総社市駅南一丁目一番地五